

ONOFF
TRAJECTORY
CONTROL
SYSTEM

- 取扱説明書 -

CROSS
BALANCE
TECHNOLOGY

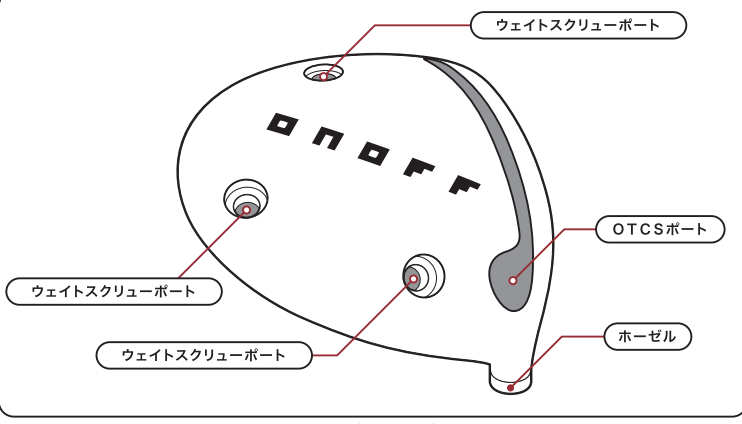
ONOFF
golf matters

◆ はじめに ◆
この度は弊社製品をお買い上げいただきありがとうございます。
ONOFF クラブに採用したオノフトラjectoryコントロールシステム (OTCS)
およびクロスバランステクノロジーは、スイングに適したチューニングを行うこと
ができ、より大きな飛距離や正確性の高いショットを提供します。
調整方法はマニュアルをよくお読みになり、事故の無いようにご使用ください。
クラブの取り扱い方法については、ゴルフクラブの取扱説明書をお読みください。

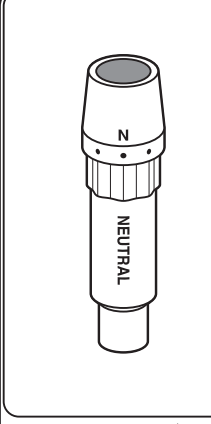

WEB SITE
QR CODE

グローブライド株式会社
〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16
お客様センター(無料) TEL:0120-506-204
https://onoff.globeride.co.jp

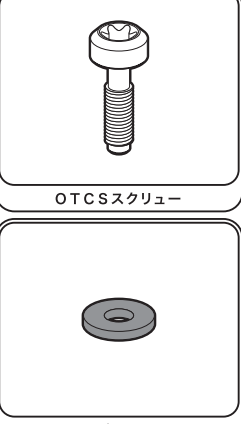
各アイテム 名称 “DRIVER”



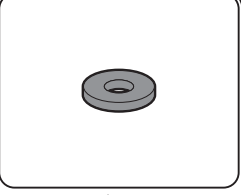
ヘッド (DRIVER)



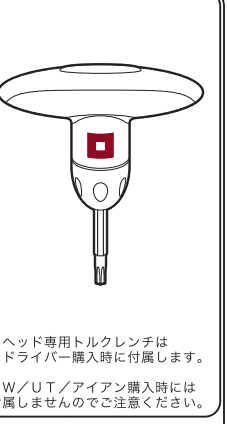
OTCSスリーブ



OTCSスクリュー



OTCSゴムワッシャー

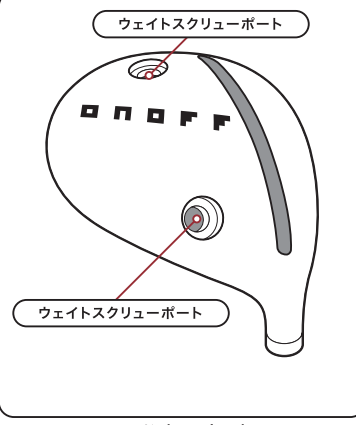


ヘッド専用トルクレンチ

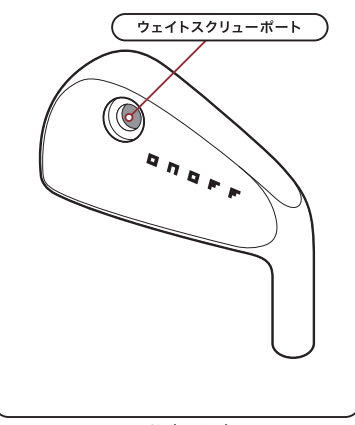
＊ヘッド専用トルクレンチは
ドライバー購入時に付属します。

FW/UT/アイアン購入時には
付属しませんのでご注意ください。

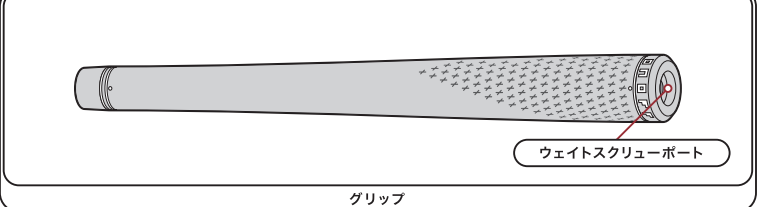
各アイテム 名称



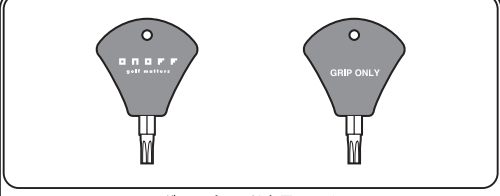
ヘッド (FW/UT)



ヘッド (IRON)



グリップ

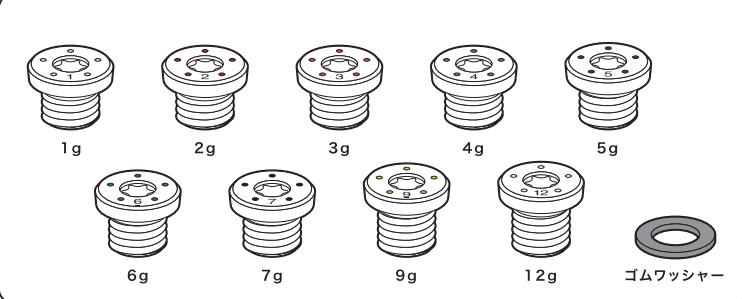


グリップエンド専用レンチ

注 意

ヘッドのウェイトスクリューおよび
OTCSスリーブ脱着には使用しない
でください。

ウェイトスクリュー



1g 2g 3g 4g 5g 6g 7g 9g 12g ゴムワッシャー

＊ ゴムワッシャーが装着された状態でお使いください。

各ヘッドに標準装着されているウェイトスクリュー、
ウェイトスクリューの調整による弾道調整およびバランス調整については
オノフウェブサイトにてご確認ください。

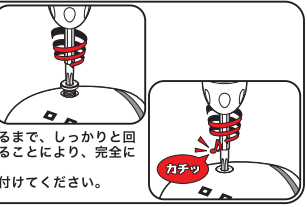


ウェイトスクリューの交換方法

ヘッド編

◆ウェイトスクリューの取り外し方◆
ヘッド専用トルクレンチを使用し、ウェイトスクリューを反時計回りに回転させ、ウェイトスクリューを緩め、ウェイトスクリューを取り外してください。

◆ウェイトスクリューの取り付け方◆
ウェイトスクリューをウェイトスクリューポートに挿入します。
ヘッド専用トルクレンチを使用し、ウェイトスクリューを時計回りに回転させ、ヘッド専用トルクレンチを「カチッ」と音がするまで、しっかりと回転させてください。ウェイトスクリューは特定のトルクまで締め付けることにより、完全に装着できるよう設定されています。
ウェイトスクリューを装着する際は、必ずゴムワッシャーを間に取り付けてください。

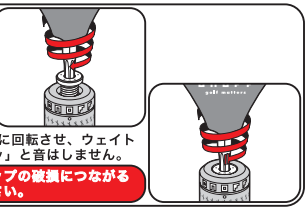


カチッ

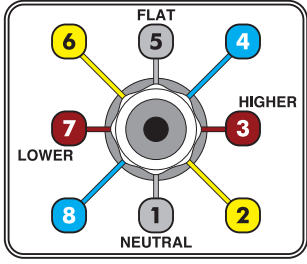
グリップ編

◆ウェイトスクリューの取り外し方◆
グリップエンド専用レンチを使用し、ウェイトスクリューを反時計回りに回転させ、ウェイトスクリューを緩め、ウェイトスクリューを取り外してください。

◆ウェイトスクリューの取り付け方◆
ウェイトスクリューをウェイトスクリューポートに挿入します。
グリップエンド専用レンチを使用し、ウェイトスクリューを時計回りに回転させ、ウェイトスクリューが動かなくなるまで緩みなく締め付けてください。「カチッ」と音はしません。
ヘッド専用トルクレンチを使用し、過度な締め付けを行うと、グリップの破損につながる恐れがありますので、ヘッド専用トルクレンチを使用しないでください。



OTCSスリーブのポジション 一覧表 “DRIVER”



POSITION

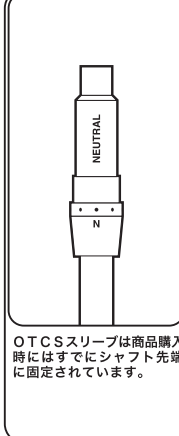
ロフト角

ライ角

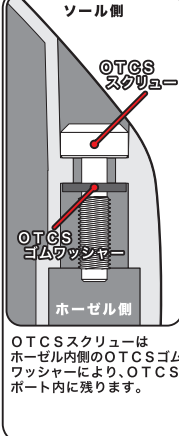
フェース角

1	2	3	4	5	6	7	8
±0°	+0.5°	+1.0°	+0.5°	±0°	-0.5°	-1.0°	-0.5°
±0°	-0.5°	-1.0°	-1.5°	-2.0°	-1.5°	-1.0°	-0.5°
±0°	+0.5°	+1.0°	+0.5°	±0°	-0.5°	-1.0°	-0.5°

シャフト脱着時の注意事項 “DRIVER”

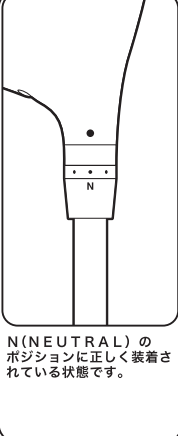


OTCSスリーブは商品購入時にすでにシャフト先端に固定されています。

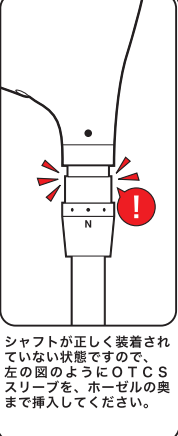


ソール側
OTCSスクリュー
OTCSゴムワッシャー
ホーゼル側

OTCSスクリューは
ホーゼル内側のOTCSゴムワッシャーにより、OTCSポート内に残ります。



N (NEUTRAL) の
ポジションに正しく装着されている状態です。



シャフトが正しく装着されていない状態で、左の図のようにOTCSスリーブを、ホーゼルの奥まで挿入してください。

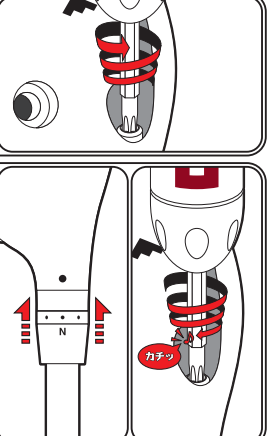
ロフト、ライ角変更の操作手順 “DRIVER”

ヘッドの仕様を変更するには、ヘッド専用トルクレンチの先をヘッドのソールに配置されたOTCSポートに取り付けてあるOTCSスクリューの六角（星形）の穴の形状に合わせてまっすぐ差し込みます。

片手でヘッド専用トルクレンチをしっかりと持ち、もう片方の手でクラブヘッドをしっかりと支えながら、OTCSスクリューを反時計回りに回転させて緩めて下さい。その際、OTCSスクリューはOTCSゴムワッシャーによりヘッドから外れず、OTCSスリーブはシャフトごとホーゼルから取り外す事が可能です。

次に選択したポジションをホーゼルに記された『・』に合わせて下さい。OTCSスリーブの付いたシャフトを先端部分が完全にホーゼル内に入って見えなくなるまで差し込みます。

ヘッド専用トルクレンチを用いてOTCSスクリューを時計回りに締め付けてOTCSスリーブをヘッドに装着して下さい。その際、シャフトと一直線になるように、ヘッド専用トルクレンチをネジ穴に合わせてください。OTCSスリーブに対し、OTCSスクリューが傾いた状態で装着されるとOTCSスクリューが破損する恐れがありますのでご注意ください。OTCSスクリューが完全に取り付けられたことを知らせる、カチッというレンチの音が聞こえるまで、しっかりと回転させて下さい。（OTCSスリーブは、特定のトルクまで締め付けることにより完全に固定出来るよう設定されています。ヘッド専用トルクレンチは「自動過剰締付防止機能付き」です。これはOTCSスリーブの固定に必要なトルク量で締め付けられるレンチ、という意味です。）

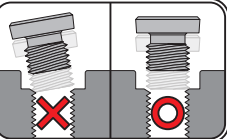


カチッ

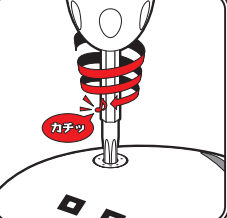
⚠ 損傷を防ぐために

ウェイトスクリュー、OTCSスクリューとシャフトに固定されたOTCSスリーブ、およびウェイトスクリューポートの損傷を防ぐ為、以下の注意事項を守ってください。

取り付け作業時に、ウェイトスクリューのネジ山とウェイトスクリューポートのネジ溝が、まっすぐに揃っていることを確認してください。この確認を怠ると、それぞれのネジ山やネジ溝に損傷が生じる可能性があり、その結果、ウェイトスクリューの取り外しや取り付けが出来なくなります。



取り外しや取り付けの最中には、ヘッド専用トルクレンチの先がウェイトスクリューとOTCSスクリューの六角（星形）の穴に完全に、そしてしっかりと挿入されていることを確認してください。トルクレンチとクラブヘッドをしっかりと支え、トルクレンチの先端と六角（星形）の穴が常に垂直になる様に気をつけてください。取り付け中、ウェイトスクリューやOTCSスクリューが完全に取り付けられたことを知らせるトルクレンチのカチッという音が聞こえたら、トルクレンチの締め付け回転をやめてください。

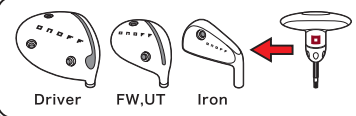


カチッ

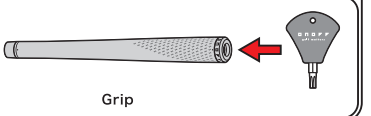
注意事項

ヘッド専用トルクレンチおよびグリップエンド専用レンチはONOFF専用以外のものを一切ご使用しないでください。OTCSスリーブおよびウェイトスクリュー、ウェイトスクリューポートの損傷、または不適切に装着した場合、思わぬ事故や故障を引き起こす可能性があります。

OTCSスリーブおよびヘッドのウェイトスクリュー脱着時にはヘッド専用トルクレンチを使用し、グリップエンドのウェイトスクリューの脱着時にはグリップエンド専用レンチを使用してください。



Driver FW,UT Iron



Grip

プレーまたは練習の前には、OTCSスリーブやヘッドに装着されたウェイトスクリューが正しく装着されているか、必ずヘッド専用トルクレンチで「カチッ」と鳴るまで締め直してご確認ください。グリップエンドのウェイトスクリューはグリップエンド専用レンチを使用し緩みなく締め直してください。OTCSスリーブがホーゼル内部に、ウェイトスクリューがウェイトスクリューポートに適切に装着されていない場合は、コースを回ったり、ドライビングレンジで練習したり、スイングを試したりしないでください。これらが与えない場合、次のような状況を引き起こす可能性があります。

(1) 土、ほこり、湿気、異物などがOTCSスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、ウェイトスクリューポートのネジ穴の隙間に入り込むことがあります。これらはネジを損傷する可能性があります。OTCSスリーブやウェイトスクリューの再装着を困難、あるいは不能にします。場合によっては、クラブヘッドやホーゼルの内部に損傷が生じ、結果として、クラブの性能に悪影響を与えることにもなりかねません。

(2) OTCSスリーブがホーゼルに、ウェイトスクリューがウェイトスクリューポートに適切に装着されていない場合、スイングの最中にヘッドやウェイトスクリューが外れる可能性があります。その結果、ご自身や周りの方が負傷する恐れがあります。

⚠ 保管・お手入れ方法

注意事項

(1) OTCSスリーブやウェイトスクリューの取り外しは、仕様変更と調整をする場合のみ行ってください。それ以外の場合は、OTCSスリーブのネジ穴、ホーゼル内部、ウェイトスクリューポートのネジ穴への異物侵入を防ぐため、クラブ保管時も含めて常時、各パーツを正しく装着したままにしておいてください。

(2) クラブヘッドのお手入れ時、またはその他のいかなる場合においても、ホーゼル、OTCSスリーブ、ウェイトスクリューポートのネジ穴に液体が侵入しないように注意してください。クラブヘッドのお手入れ中は、OTCSスリーブやウェイトスクリューがすべて装着されていない状態はなりません。

(3) OTCSスリーブやウェイトスクリューの取り外しと取り付けは、異物が空のホーゼル穴やOTCSスリーブ、ウェイトスクリューポートのネジ穴に侵入したり、ネジ山に詰まったりしないよう、清潔な場所で行ってください。濡れたり汚れたりしたOTCSスリーブやウェイトスクリューはそのまま装着せずに、乾いた柔らかい布などで完全にふき取ってからご使用ください。

(4) ホーゼル穴やウェイトスクリューポートの中に異物が入った場合、各ネジ穴の底やヘッド内部に異物が落ちないように、ネジの穴が下を向くように持ち、きれいな布で取り除いてください。

(5) シャフトに装着されたOTCSスリーブの先端のネジ溝、ウェイトスクリューのネジ山、ウェイトスクリューポートのネジ溝には、いかなる種類の潤滑剤も使用しないでください。

(6) シャフトに装着されたOTCSスリーブの先端のネジ溝、ウェイトスクリューのネジ山は、研磨したり、ヤスリにかけたりするなどのいかなる改造や変更も決して行わないでください。各パーツの適切な装着が妨げられ、ヘッドやウェイトスクリューがスイングの最中に外れる可能性が生じます。その結果、ご自身や周りの方が負傷する恐れがあります。

(7) OTCSゴムワッシャーで止められているOTCSスクリューは、無理に取り外さないでください。

⚠ ゴルフ規則について

注意事項

ウェイトスクリューを外したままのプレー、およびラウンド中にOTCSスリーブによる仕様変更、ウェイトスクリューの交換を行わないでください。

(1) ONOFFドライバーは、米国のUSGA及び英国のR&Aによる「ゴルフ規則」を遵守しています。しかし、ラウンド中におけるライ角の変更、ウェイトスクリューの取り外しや取り付けをする行為は、規則第4条1a項3「正規のラウンド中、クラブ性能は調節その他の方法により故意に変更してはならない。」という規則に抵触し、ゴルフ規則の遵守不履行とみなされます。

(2) 穴の開いたクラブヘッドは、USGAとR&Aによる「ゴルフ規則」の遵守不履行とみなされます。附則第II条4a項には以下のように規定されています。

「クラブヘッドの形状は大体において単純ものでなければならない。また、そのすべての部分は堅牢(rigid)で、ヘッドの実質的な構成部分であるとともに、機能的でなければならない。単純な形状についてはこれを正確に、しかも包括的に定義づけることは困難であるが、単純な形状の要件に反するものとみなされ、したがって規則上許されないものの例として、(a) クラブヘッドを貫き通っている穴が含まれる。」